

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（略称市民連合）」結成の提案 5野党と戦争法反対5団体の意見交換会

12月9日おこなわれた10月16日、11月19日に続く3回目の5野党と5団体の意見交換会の席上、市民団体から「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」を結成し、来年の参院選での野党共闘を求めることが提案されました。政党側から積極的な受け止めが表明されました。

提案は、立憲主義、民主主義、平和主義の擁護と再生は政治の前提となるもので、安全保障関連法を廃止、立憲主義を回復し、自由な個人が相互の尊重のうえに持続可能な政治経済社会を構築する政治と政策の実現を志向することを理念としています。その理念実現のために、2000万人署名を共通の基礎として、安全保障関連法の廃止、立憲主義の回復＝集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回含む、個人の尊厳を擁護する政治の実現にむけた野党共闘を要求し、これらの課題に関する公約を基準に参院選での候補者の推薦と支援をする、としています。さらに参院選では32の1人区すべてで野党が協議・調整し候補者を絞り込むことを要請することを明らかにしています。「連合」は、2000万人統一署名の共同呼びかけ29団体その他で組織し、各地域で野党統一候補擁立めざす活動をしている市民団体との連携をはかるという組織方針なども示しています。

意見交換会に出席した野党は、民主党、日本共産党、維新の党、社民党、生活の党と山本太郎となかまたちの5党、団体は、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、安全保障関連法に反対する学者の会、SEALDs、安保関連法に反対するママの会、立憲デモクラシーの会の5つでした。

今後の進展に期待が高まっています。

「市民連合」が記者会見（12/20）、大街頭宣伝（1/5）を予定

「市民連合」は、12月20日（日）16時から記者会見を行います。また、来年1月5日（火）には12時～13時、新宿駅西口で「市民連合」が大街頭宣伝を行います。さらに1月下旬、会場確保中ですが、「市民連合」がシンポジウムを開催します。

戦争法廃止2000万人統一署名行動次つき⑥

寒風の中23人が署名

◀北海道▶

12月1日、北海道憲法共同センターはJR札幌駅西口で2000万人統一署名を呼びかけました。この行動では、北海道憲法会議、北海道商工団体連合会、全北海道教職員組合の代表らが訴えました。冷たい風が吹きすさぶ中、23人が署名、募金も寄せられました。

署名をしながら「憲法9条があったから日本はこれまで平和を守ってこられた。戦争に参加するための法律は廃止すべき」（求職中の女性）、「今度の選挙は僕らも選挙できる。よく考えて投票したい」（高校生）、「安倍さんは日本を戦争の方向に引っ張っていかうとしていて危険だ、一刻も早くやめてもらいたい」などの声が寄せられました。

高校生も大学生も語り署名

《北海道》

革新ていねの会（札幌市手稲区）はこのほど JR 手稲駅北口で 2000 万人統一署名の宣伝行動を行いました。大雪となり、通行人も少ない中、行動に参加した 10 人が、のぼりをかかげ、代わる代わる訴えると、30 分間で 54 人の署名が寄せられました。ビラも 100 枚配布しました。

高校生も大学生も「戦争法は廃止すべきだ」と力強く反応しながら署名しました。

同ていねの会は連続して同じ駅頭で宣伝署名行動をおこないます。

「廃止のたたかい再スタート」講演会

《新潟》

新潟憲法会議と憲法を守る新潟県共同センターはこのほど「戦争法案廃案の闘いに学び、廃止の闘い再スタート講演会」を開催しました。講演会には 60 人が参加しました。

主催者が、国民の自発的自覚的決起など戦争法案反対の国民的運動の画期的な特徴を紹介、戦争法廃止と辺野古新基地建設や TPP、消費税増税に反対する運動を一体に取り組みようと呼びかけました。また、「参院選で安倍政治打倒を勝ち取る野党共闘とたたかいを新潟でも実現しよう」と述べました。

川村俊夫憲法会議代表幹事が講演しました。そのなかで、戦争法施行にもとづく現実的危険性、とりわけ国際テロ問題でテロの報復では解決しない、アメリカ主導の IS 対策への自衛隊の参加が日程にのぼる「戦争法廃止のために今大事なことは、これまでのストックホルムアピール署名や核兵器核廃絶署名などの経験をいかし、2000 万人署名を来年 5 月までに達成することだと強調しました。

「戦争法廃止」高崎市で 100 回目の宣伝

《群馬》

「特定秘密保護法の廃止を求める高崎市民の会」はこのほど、高崎駅東口で、毎週土曜日に続けている 100 回目の宣伝行動を行いました。行動で呼びかけた戦争法廃止を求める 2000 万人署名には市民が次つぎ応じ、1 時間半で 132 人となりました。

「9 条で日本は守られてきたが、戦争を再び繰り返すような方向に危機感を持っている。少しでも協力できれば」（会社社員の女性）、「安倍さんはアメリカに協力すると言っているけど価値があるのだろうか。戦争で人が死ぬだけだ」（中学生女子）、「暮らしが以前より苦しくなっている。戦争ではなく、一般の人の生活に力をいれるべき」（日本在住の中国人女性）などの声が署名とともに寄せられました。

ライン仲間で勉強会、2000 万人署名の決意も

《岐阜》

岐阜県大垣市の「戦争法の廃止を求める有志の会」は 11 月 28 日、「戦争法の廃止を求めるつどい」を開催、50 人が参加しました。有志の会世話人は、会の賛同者が 150 人に広がり、募金もよせられ、その金でチラシ 3 万数千枚をつくり新聞折り込みができ、広く市民にしらせることができたことを報告しました。

参加した女子高校生は「学校で立憲主義についても戦争法の怖さについても知った。デモに参加しなかったら後悔するという高 3 受験生の新聞記事を見て、これまでの私は負けていた、強行されても終わりじゃないと思った。いまからできることがある。来年の選挙で選挙権ができる友達に話し、戦争をもたらさない政府をつくらうと呼びかけたい」と決意を語りました。

パパママの会野メンバーは「ライン仲間で勉強会をやり、2000 万人署名をやりたい」と語っています。